

小型漁船の火災事故が多発しています！

平成26年3月、高知県室戸岬南方沖において、小型漁船の機関室で火災が発生し、乗組員6人が死亡又は行方不明となり、1人が負傷する事故が発生しました。

運輸安全委員会が、過去6年間に公表した船舶事故調査報告書のうち、小型漁船の火災事故は、106件発生しており、13人が死亡又は行方不明となり、65隻が全損処理となっています。

被害の軽減には、火災を早期に発見し、早期に救助要請することが重要ですので、次の対策をすることが有効です！

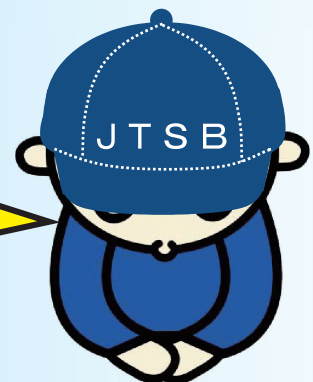
火災探知装置や機関室内を見ることが出来るモニター装置を設置しましょう！

退船時には、レーダートランスポンダとEPIRBを持ち出しましょう！
携帯型の救命通信装置の備え付けも有効です！

携帯型の救命通信装置の一例



目指そう
死傷者ゼロ！



自動拡散型消火器を備え付けましょう！